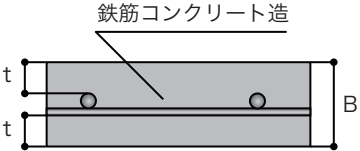
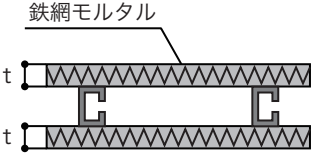
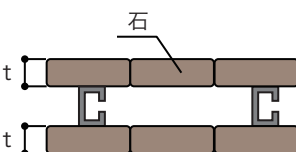
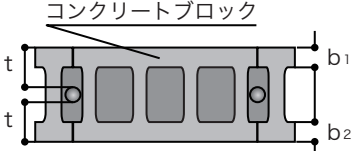
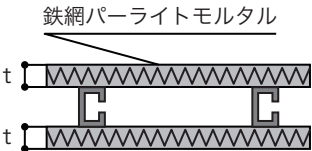
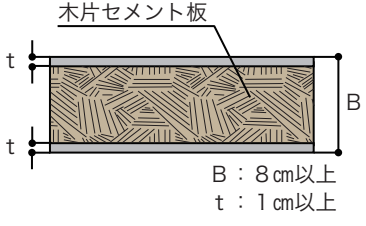
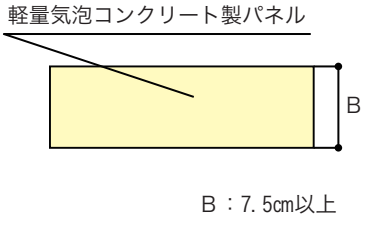
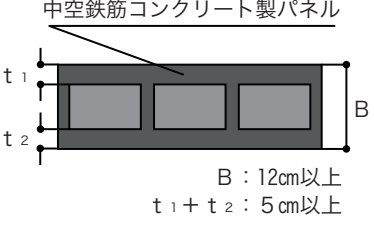
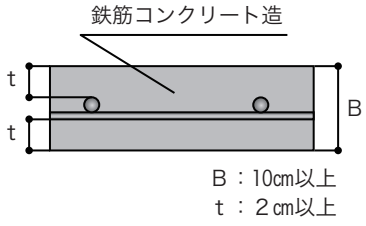
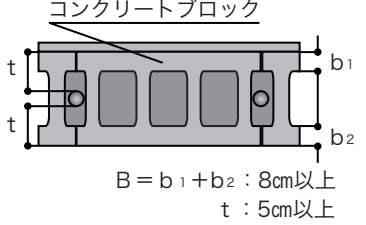
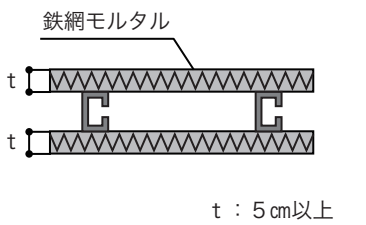


**別記第7 耐火構造**  
**【危政令第9条第1項第5号関係】**

建基法第2条第7号に規定する国土交通大臣が定めた構造方法（耐火構造の構造方法を定める件（平成12年建設省告示第1399号））

部分	構造	被覆材料
壁	 <p style="text-align: center;">鉄筋コンクリート造</p> <p style="text-align: center;"><math>B : 10\text{cm以上}</math> <math>t : 3\text{cm以上}</math></p>	<p>鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄骨コンクリート造（鉄骨に対するコンクリートのかぶり厚さが3cm未満のものを除く。）で厚さが10cm以上のもの</p>
	 <p style="text-align: center;">鉄網モルタル</p> <p style="text-align: center;"><math>t : 4\text{cm以上}</math></p>	<p>軸組を鉄骨造とし、その両面を塗厚さが4cm以上の鉄網モルタルで覆ったもの（塗下地が不燃材料で造られていないものを除く。）</p>
	 <p style="text-align: center;">石</p> <p style="text-align: center;"><math>t : 5\text{cm以上}</math></p>	<p>軸組を鉄骨造とし、その両面を厚さが5cm以上のコンクリートブロック、れんが又は石で覆ったもの</p>
	 <p style="text-align: center;">コンクリートブロック</p> <p style="text-align: center;"><math>B = b_1 + b_2 : 8\text{cm以上}</math> <math>t : 5\text{cm以上}</math></p>	<p>鉄材によって補強されたコンクリートブロック造、れんが造又は石造で、肉厚及び仕上材料の厚さの合計が8cm以上であり、かつ、鉄材に対するコンクリートブロック、れんが又は石のかぶり厚さが5cm以上のもの</p>
	 <p style="text-align: center;">鉄網パーライトモルタル</p> <p style="text-align: center;"><math>t : 3.5\text{cm以上}</math></p>	<p>軸組を鉄骨造とし、その両面を塗厚さが3.5cm以上の鉄網パーライトモルタルで覆ったもの（塗下地が不燃材料で造られていないものを除く。）</p>

部分	構造	被覆材料
壁	<p>木片セメント板</p>  <p>B : 8 cm以上 t : 1 cm以上</p>	木片セメント板の両面に厚さ 1 cm 以上モルタルを塗ったものでその厚さの合計が 8 cm 以上のもの
	<p>軽量気泡コンクリート製パネル</p>  <p>B : 7.5 cm 以上</p>	高温高圧蒸気養生された軽量気泡コンクリート製パネルで厚さが 7.5 cm 以上のもの
	<p>中空鉄筋コンクリート製パネル</p>  <p>B : 12 cm 以上 t<sub>1</sub> + t<sub>2</sub> : 5 cm 以上</p>	中空鉄筋コンクリート製パネルで中空部分にパーライト又は気泡コンクリートを充填したもので、厚さが 12 cm 以上であり、かつ、肉厚が 5 cm 以上のもの
床	<p>鉄筋コンクリート造</p>  <p>B : 10 cm 以上 t : 2 cm 以上</p>	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造で厚さが 10 cm 以上のもの
	<p>コンクリートブロック</p>  <p>B = b<sub>1</sub> + b<sub>2</sub> : 8 cm 以上 t : 5 cm 以上</p>	鉄材によって補強されたコンクリートブロック造、れんが造又は石造で、肉厚及び仕上材料の厚さの合計が 8 cm 以上であり、かつ、鉄材に対するコンクリートブロック、れんが又は石のかぶり厚さが 5 cm 以上のもの
	<p>鉄網モルタル</p>  <p>t : 5 cm 以上</p>	鉄材の両面を塗厚さが 5 cm 以上の鉄網モルタル又はコンクリートで覆ったもの（塗下地が不燃材料で造られていないものを除く。）

耐火性能時間（建基令第107条第1号）

建築物の部分		建築物の階	
		最上階及び最上階から数えた階数が2以上で4以内の階	最上階から数えた階数が5以上で14以内の階
壁	間仕切壁（耐力壁に限る。）	1時間	2時間
	外壁（耐力壁に限る。）	1時間	2時間
	柱	1時間	2時間
	床	1時間	2時間
	はり	1時間	2時間
	屋根	30分間	
	階段	30分間	

(1) この表において、建基令第2条第1項第8号の規定により階数に算入されない屋上部分がある建築物の部分の最上階は、当該屋上部分の直下階とする。

(2) (1)の屋上部分については、この表中最上階の部分の時間と同一の時間によるものとする。

(3) この表における階数の算定については、建基令第2条第1項第8号の規定にかかわらず、地階の部分の階数は、すべて算入するものとする。

※階数に算入されない  
ペントハウス等は、  
最上階の耐火時間と  
同一とする。

階数	建築物の部分		柱	床	はり	屋根	階段
	間仕切壁（耐力壁）	外壁（耐力壁）					
PH2F							
PH1F							
15F	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	30分間	30分間
14F							
13F							
12F							
11F	2時間	2時間	2時間	2時間	2時間		
10F							
9F							
8F							
7F							
6F							
5F							
4F							
3F							
2F							
1F	2時間	2時間	3時間	2時間	3時間		
B1F							